

みやぎ生協「せいきょう便」・「イベント車」2台目導入



明るい絵がペイントされたイベント車の2号車。



みやぎ生協にて、イベント車の贈呈式が行なわれました。

みやぎ生協では、3月26日に「せいきょう便」の2台目を、3月27日に「イベント車」の2台目を導入しました。

「せいきょう便」は、近隣に小売店がない仮設住宅への入居などで、買い物に困っている方々への商品供給が目的の移動販売車です。生鮮食品、加工食品、生活関連商品など約600アイテムが揃っています。1号車は石巻市および東松島町を、2号車は気仙沼市および南三陸町の仮設住宅地域を中心に巡回しています。

「イベント車」は、CO・OP商品などの試食品を積み込み、簡単な調理設備も備えたトラックで、仮設住宅などを巡回し、生協のご案内を行なうために導入されました。車体には、復興を願い、明るい絵がペイントされました。これは、日本生協連復興支援ポータルサイトのトップ画像を参考に作成されたそうです。1台目のイベントカーは、主に県内の北部地域を中心に回り、半年で約1万人の方とお話し、約3,600の方が生協に加入されました。試食ができるイベントカーは、被災された方のコミュニケーションの場にもなっており、南部地域を回る2台目も活躍が期待されています。

福井県民生協 「被災地に花を咲かせよう」



球根のラベルには、「花と笑顔が溢れるようになる日まで、私たちは皆さんを支援し続けます。組合員一同」と書かれています。

福井県民生協は、3月に店舗と宅配で「被災地に花を咲かせよう」プロジェクトを実施しました。プロジェクトに賛同する組合員が1口1,000円で申し込むと、グラジオラスの球根が組合員本人に1袋(5個)届き、同時に岩手県内の被災地に1袋(5個)贈られるというものです。約3万個の注文があり、そのうちの2万5,000個は、いわて生協を通じて、被災地支援を行なっている団体や、被災地の福祉施設・保育施設へ贈られました。また、いわて生協においても、ふれあいサロンなどで活用されています。

コープあいち 総代会記念品として「つかむにゃん」550個注文



つかむにゃん。いろいろなものをはさむことができます。

コープあいちでは以前から支援活動を行なっている関係で、岩手県「大船渡中学校仮設住宅」に入居している有志で製作している「つかむにゃん」を総代会記念品として550個注文しました。これは、ねこの形をしたぬいぐるみの中にクリップが入っていて、物をはさむことができる商品です。このグループの代表であり、いわて生協けんコープ・コープリーダーの広野稲子さんは、「仮設住宅に入居し、みんなで集まるうちに『いただいた支援物資を一つも無駄にたくないね』という話になりました。アイデアを出し合い、いろいろなものを作りました。これが誰かの役に立ったり、誰かに可愛がってもらえたらうれしく思います」と話していました。